



Academic eXchange for
Information Environment and Strategy

2016年度
年次大会

教育技術開発部会 (EdTech部会) 活動報告および計画

2016年 12月 15日

常盤 祐司 (部会主査、法政大学)

yuji.tokiwa.dc@hosei.ac.jp

Contents

- 趣旨
- 運営
- 活動実績および活動計画
- 2016年度研究会とふりかえり
- 部会Webサイト

趣旨

教育技術開発部会では、新しいテクノロジーおよび標準を、教育の場で利用するために、企業と大学が一丸となってそれらを用いた教育手法・技術を共同で開発し、大学におけるそれらの実践的な利活用のあり方を提案する。提案に際しては企業がテクノロジーを紹介し、大学が教育の場での利用方法を説明するなど、単なる製品の紹介にとどまらない産学共同提案を義務付ける。

運営委員会

	氏名	所属	備考
担当理事	鎌田 弘之	明治大学	大学
主査	常盤 祐司	法政大学	大学
副査	山形 裕之	ソニービジネスソリューション株式会社	企業
運営委員	喜多 一	京都大学	大学
運営委員	津田 康弘	京セラ丸善システムインテグレーション株式会社	企業
運営委員	深澤 良彰	早稲田大学	大学
運営委員	山村 貴秀	富士ゼロックス株式会社	企業

2016年度活動計画と実績

2016年度計画



2016年度実績

2016.8.3 第2回研究会 (東京)

2016.10.25 第3回研究会 (大阪)

2016.12.15 AXIES年次大会(京都) 企画セッション

第2回研究会 プログラム

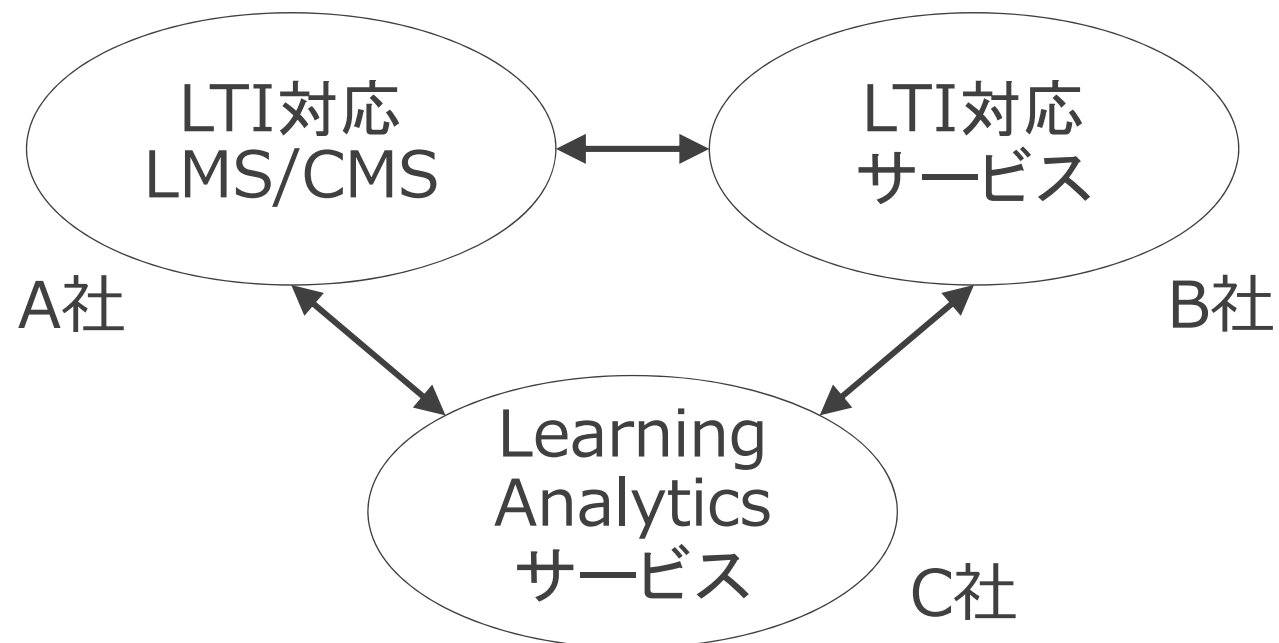
- 13:00 – 研究会の進め方
山形 裕之(部会副主査、ソニービジネスソリューション)
- 13:20 – 新たな教育方法を実現するための産学協同
渡辺 博芳 (帝京大学)
- 14:00 – 研究セッション1
市販アプリケーションの共同利用推進に関する可能性検討
高垣 義男 (パナソニックインフォメーションシステムズ)
- 14:45 – 研究セッション2
最新のICTを活用した講義の双方向性の向上
小林 良太郎 (豊橋技術科学大学)
- 15:30 – 休憩
- 15:45 – 研究セッション 3
動画及び遠隔教育機能の活用検討
安藤 典久 (Kaltura Inc)
- 16:30 – 研究セッション4
ビデオを活用した新たな教育方法を支援するサービスの提案
河合 慶二 (東和エンジニアリング) 芳賀 瑛 (法政大学)

第3回研究会 プログラム

- 13:00 – 研究会の進め方
山形 裕之(部会副主査、ソニービジネスソリューション)
- 13:20 – Maharaを利用したePortfolioシステムの開発と運用
隅谷 孝洋 (広島大学)
- 14:00 – 研究セッション 1
LMSを利用したシームレスな学習環境の紹介、2例
山田 浩一、斎藤 亮一
(アシストマイクロ株式会社/Blackboard Japan株式会社)
- 14:45 – 休憩
- 15:15 – 研究セッション 2
E-learningと電子書籍を用いた新たな教授法が可能にする
大学教育の未来像
石原 美希 (センゲージラーニング株式会社)
- 16:00 – 研究セッション 3
デジタルペーパーによる教育研究分野での期待される利活用の未来像
塩浦 邦浩 (ソニーセミコンダクターソリューションズ株式会社)
萩原 恒 (ソニービジネスソリューション株式会社)

研究会における気付き

- 発表：20分、ディスカッション：25分でプログラムを組んでいるが、ディスカッションの時間が不足気味である。
- テーマを絞ったり、複数企業の製品を組み合わせるソリューションの発表も含めていきたい。



EdTech Webサイト

事例紹介

大学ICT推進協議会 教育技術開発部会
AXIES EdTech

ABOUT CASE INFO

検索

目的

大学ICT推進協議会 教育技術開発部会 (AXIES EdTech) では、新しいテクノロジーおよび標準規格を教育の場で利用するために、企業と大学が一丸となってそれらを用いた教育手法・技術を共同で開発し、大学におけるそれらの実践的な利活用のあり方を提案します。

リンク

- 大学ICT推進協議会
- 大学ICT推進協議会部会一覧

カテゴリ

- イベント
- お知らせ

歩み

2015年5月21日	大学ICT推進協議会理事会にて設置承認
2015年9月8日	キックオフシンポジウム
2015年12月	大学ICT推進協議会年次大会企画セッション
2016年3月	研究会部会(第1回)
2016年8月	研究会部会(第2回)
2016年10月	研究会部会(第3回)

入会申し込み

大学ICT推進協議会 教育技術開発部会の活動に賛同される皆様(含む：非会員)にはメンバーリストにて情報提供を行っています。メンバー登録を希望される場合には、下記宛先に空メールをお送りください。

sig-edtech-subscribe@axies.jp

なお退会される場合には、下記宛先に空メールをお送りください。

sig-edtech-unsubscribe@axies.jp

大学ICT推進協議会 教育技術開発部会
AXIES EdTech

ABOUT CASE INFO

授業支援ボックスによる紙文書と授業支援システムの連携

- 青山学院大学
- 富士ゼロックス株式会社

概要

授業支援ボックスは、テストやレポート、出席票などの紙文書をスキャンし、授業支援システム(LMS : Learning Management System)に登録するシステムです。

テクノロジーの解説

手書きで書かれた学籍番号と先生の採点した得点を、手書きに特化した文字認識技術(図1)により処理します。LMSと授業支援ボックスが通信を行い、複合機のパネル上で、教員・講義・課題を選択しLMSに転送します。同時に出席情報・採点情報を一覧化(図2)し、提出物は、PDFファイルにまとめられます。これにより、先生の業務軽減と、スピーディーなフィードバックによる学生のモチベーションの向上に貢献します。

人間の脳

脳神経科学が解明した視覚情報処理の仕組み

① 入力 → ② 文字画像 → ③ 読み込み → ④ 特徴量マップ → ⑤ 読み込み → ⑥ 特徴量マップ → ⑦ 文字判別 → ⑧ 七刀

ソフトウェア

視覚情報処理の仕組みをソフトウェアで実現

入力 → 文字画像 → 読み込み → 特徴量マップ → 読み込み → 特徴量マップ → 文字判別 → 七刀

図1 人間の視覚情報処理の仕組みを利用した文字認識技術

<http://edtech.axies.jp/>

2016年度年次大会企画セッション プログラム

9:00 - 部会活動報告

常盤 祐司 (教育技術開発部会主査、法政大学)

9:15 - 青山学院大学における授業収録配信システムの導入と今後について

上之蘭 和宏 (青山学院大学)

重田 拓緒 (メディアサイト株式会社)

9:40 - 大学における電子計算機システムのクラウド化とBYOD化の取り組み ～東京農工大学の事例から～

三島 和宏 (東京農工大学)

八巻 秀欣 (ユニアデックス株式会社)

10:05 - 産学連携によるドキュメントワークフロー改善の一考察 ～富士ゼロックス授業支援ボックスとSONYデジタルペーパー～

喜多 一 (京都大学)

中村 慎也、森田 雅夫、佐藤 悦志 (富士ゼロックス株式会社)

松浦 健 (ソニーセミコンダクターソリューションズ株式会社)

10:30 終了

AXIES
EdTech

<http://edtech.axies.jp/>